



安城ロータリークラブ 週報

ROTARY CLUB OF ANJO

●NO. 530 2012/1 第3例会●



2011-2012 RI テーマ

テーマ 『 Let' s Enjoy Rotary 』

- 創立日：S33年1月10日 ●RI加盟認証日：S33年2月6日
- 会長：沓名俊裕 ●会長エレクト：大見 宏 ●副会長：石川 博 ●幹 事：永谷文人
- クラブ会報：神谷 研 寺田孝司 恒川憲一
- 例会日：毎週金曜日 12:30~13:30 ●例会場：碧海信用金庫本店3F / 安城市御幸本町15-1
- TEL：0566 - 75 - 8866 ●FAX：0566 -74- 5678
- Email：anjo-rc19580206@katch.ne.jp ●HP：<http://www.anjo-rc.org>

第2671回例会

伊勢神宮参拝 (移動例会)

2012年1月22日(日)13時30分から14時30分

場 所：岩戸屋

ソング：「それでこそロータリー」

ゲスト：池田六太郎君 伊勢度会RC (パスト会長)

牧戸福詞君 伊勢度会RC (伊勢観光協会会長
<岩戸屋社長>)

松井章様 観光ボランティアガイド
(前伊勢市観光産業部長)

ピジター：なし

出席報告

出席委員会 永谷文人君 (幹事が代行)
会員56名 出席義務者43名 出席率100%

会長挨拶 会長 沓名俊裕君

本日は職業奉仕委員会委員長小野内宣行君のお陰で、伊勢神宮の参拝と安城 RC の発展並びに細井ガバナー補佐年度の諸事業の無事な遂行及び今年10月に当クラブがホストを務める地区大会の成功を祈念しお祝いを受けることができました。

また、この移動例会は小野内君のご親戚の池田六太郎様伊勢度会RC (パスト会長) とこの例会場の岩戸屋社長牧戸福詞様伊勢度会RCに大変お世話になりました。心より感謝いたします。そして、観光ボランティアガイドの松井章様に「伊勢の神宮」について、卓話をさせていただきます。こちらも大変に楽しみにしております。松井様よろしくお願いたします。



幹事報告 幹事 永谷文人君

1/28(土)IMリハーサルを行います。

本日は、岩戸屋にて移動例会とおかげ横丁散策です。帰りの集合時間に遅れないようにしてください。

卓 話

紹介者、企画者：小野内宣行君

池田六太郎さん(伊勢度会RCパスト会長)とは30年旧知の友であり、お互いの子どもたちが結婚したので、濃い親戚になりました。本日は池田さんを通じて牧戸さんをご紹介いただき、伊勢神宮参拝と移動例会が企画できました。

牧戸福詞君 伊勢観光協会会長(岩戸屋社長)伊勢度会RC 皆さんのご来訪を歓迎します。皆さんがお祝いで頂いている時に連絡をいただきましたので、ちょうど食べごろになる時間を考えて、お料理に火を入れさせていただきました。ご賞味ください。

松井章様 観光ボランティアガイド(前伊勢市観光産業部長)

伊勢市役所に奉職しておりましたが、退職し観光ボランティアガイドとして現在4年目です。

本日は内宮を見ていただき、お参りとお祝いを受けていただきましたが、「神宮」といえば伊勢の神宮 = 伊勢神宮のみをさします。神宮は、全国8万社の本宮(正宮)です。神宮は皇大神宮(内宮)と豊受大神宮(外宮)を中心に、別宮が14社と 摂社・末社・所管社109社からなっています。

もともと大和朝廷に鎮座した神(天照大御守)は朝廷におられましたが、結構騒がしい神で、第10代崇神天皇の御代に皇居を出られ、11代目崇仁天皇の御代に大和の地に大宮どころ(五十鈴川の地)に鎮座されました。(紀元前4年=2000年の歴史)

また、約1500年前の第21代雄略天皇の御代に、豊受大御神を丹波の国からこの渡会にお連れになられました。

持統天皇の御代に、式年(=20年)に一度、宮処(御敷地)を改め、古例のままに御社殿や神宝をはじめ、一切を一新して、大御神の神殿へのお遷り(遷御)を仰ぐ式年遷宮が始まり、以来1300年という世界にも例を見ないかけがえない歴史と伝統をゆうしています。

ただし、戦国時代はほったらかしにされ、第二次大戦後



安城ロータリークラブ 週報

ROTARY CLUB OF ANJO

マッコーサー試練といい、昭和20年の政教分離により、国の管理から民間管理へ移行しました。

さて、宇治橋は20年間で約一億人が渡り、その間橋の厚みが、15センチが7センチに磨り減ります。神宮の御遷宮の木は、1000年前から木曾の山から切り出されています。



神社は祓い清めが原点で、神宮はシンプルな様式で築造されています。それゆえ、御遷宮で生まれる旧社殿の木は全国どこかの神社でリユースされます。また、20年に一度の御遷宮により、わが国の伝統文化のルーツを伝え、技術の保存伝承にも大きな役割を果たしています。

神は朝夕二食の食事をされますが、これも食事・食材・調理法などの伝承に役立っています。神宮では年間に1500回くらいお祭りを行っています。

内宮は2000年、外宮は1500年、御遷宮は1300年の歴史があることを覚えておいてください。



冊子「伊勢の神宮」より

<伊勢の神宮>

古くから「神宮」といえば伊勢の神宮をさします。それは最も尊いお宮だからです。

神宮は皇大神宮(内宮)と豊受大神宮(外宮)の両正宮を中心として、十四所の別宮、百九所の摂社・末社・所管社からなっています。



<皇大神宮(内宮)>

皇大神宮には日本国民の大御親神とあがめまつる皇祖天照大御神をお祭り申し上げます。天照大御神は歴代の天皇がおそば近くでおまつりされましたが、第十代の崇神天皇の御代に、はじめて皇居をおでましになり、大和の笠縫邑におまつりされました。ついで各地をご巡幸のち、第十一代垂仁天皇の二十六年(約二千年前)大御神の御心にかなった大宮どころとして現在の地におしずまりになりました。



<豊受大神宮(外宮)>

豊受大神宮には豊受大御神をおまつり申し上げます。第二十一代雄略天皇の二十二年(西暦五世紀)に天照大御神のご神慮によって丹波の国(今の京都府北部)から、この度会の山田原におむかえしたと言い伝えられています。

豊受大御神は天照大御神のおめしあがりになる大御饌(食物)の守護神であり私たちの生活をささえる一切の産業をお守りくださる神様です。

<式年遷宮>

式年遷宮は正遷宮とも称し、二十年に一度新しい神殿を造営し御装束・神宝をととのえ、大御神様におうつり願う儀式です。

この制度は第四十代天武天皇のご発意により、次の持統天皇の御代から、国家最大の重儀として千三百年にわたり続けられています。

第六十二回神宮式年遷宮は、平成十七年春に最初のおまつりである山口祭・木本祭が行われ、現在順調に御準備がとり進められており、平成二十五年には遷御の儀が予定されています。

大御神様の新たな御光を仰ぐ御遷宮は、生成発展してやまないわが民族生命の源泉として長い歴史と伝統ある極めて重要な祭儀であります。



伊勢神宮参拝



参拝者全員で



特別参拝の申込



霊験新たかな柱に触れて (1)



霊験新たかな柱に触れて (2)



岩戸屋さんでの例会食事風景



今週のトピックス

米コダック：破産法申請、経営破綻

初のデジカメ開発、時代に乗り遅れ

(毎日新聞 2012年1月20日 東京朝刊)

米写真用品大手のイーストマン・コダックは19日、連邦破産法11条の適用をニューヨークの裁判所に申請したと発表した。

破産法の申請対象はコダック本社と米国内の子会社。米大手金融大手のシティグループから18カ月間にわたり、9億5000万ドルのつなぎ融資を受けて、当面事業を継続する。

今後は、デジタル部門への事業の集約や保有する特許の売却などで、13年までに再建手続きを完了させる方針を示した。